

◆今週(7/22(月)～)の重点お世話について

皆様の献身的なボランティア活動により、おかげさまで以前に比べかなり雑草が減ってきております。…が、少し雨が降るとすぐに雑草が自己主張し始めます。しかし、継続的に除草することで1回辺りの労力も軽減される…はず、ええ、きっと(笑)

ということで、今週も引き続き「シバザクラ」エリアを重点的に草取りしましょう。

◆今週の豆知識

(ビヨウヤナギ名前の由来)

唐代中期の詩人、白居易の「長恨歌」に、「太液の芙蓉未央の柳此対ひて如何にしてか涙垂れざらむ」と、玄宗皇帝が楊貴妃と過ごした地を訪れて、太液の池の蓮花を楊貴妃の顔に、未央宮殿の柳を楊貴妃の眉に喩えて 未央柳の情景を詠んだ一節があり、美しい花と柳に似た葉を持つこの木を、この故事になぞらえて未央柳と呼ぶようになったそうです。(諸説あり)

(アジサイの発色)

アジサイは土壌のpH(酸性度)によって花の色が変わり、一般に「酸性ならば青、アルカリ性ならば赤」になると言われています。これは、アルミニウムが根から吸収されやすいイオンの形になるかどうか、pHが影響するためだそうです。すなわち、土壌が酸性だとアルミニウムがイオンとなって土中に溶け出し、アジサイに吸収されて花のアントシアニンと結合し青色になり、逆に土壌が中性やアルカリ性であればアルミニウムは溶け出さずアジサイに吸収されないため、花は赤色となるそうです。



色が混ざってるけど、これってどういう状況？

◆今週の開花情報<ビヨウヤナギ、アジサイ>



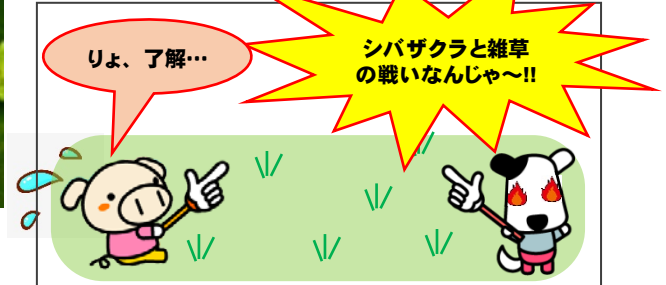
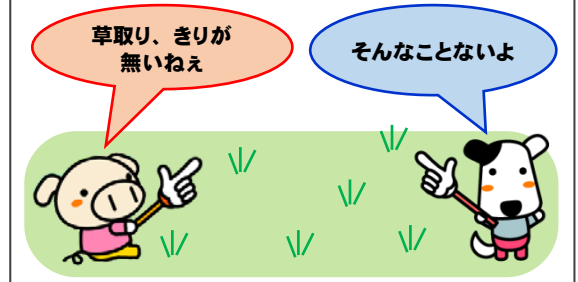
↑ アジサイ(7/17時点 図書館前花壇)

← ビヨウヤナギ(7/17時点 小公園)

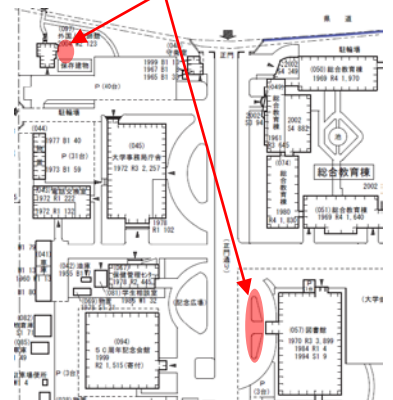
(ビヨウヤナギ・アジサイ 基本スペック)

NO.	名称	樹高	耐寒性	日照条件	土壌	管理	開花期												特徴				
							1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月					
1	アジサイ	100cm	普通	日陰可	湿度が必要、乾燥に弱い	肥料は花後や春に与える																	品種により花の付きが異なる。目立つ部分が装飾花なので花持ちが良い。日当たりの悪い環境や多湿に耐え丈夫で育てやすい。花色は土壌の酸性度に左右される。青色は酸性土壌、赤色は中性から弱アルカリ土壌でよく発色する。
2	ビヨウヤナギ	80cm	強い	半日陰	土質は選ばない	肥料不要伸びすぎたら剪定																	中国原産の半落葉低木。丈夫で根張りも良く育てやすい。黄金色の花が上向きに咲き、多数の雄しべが突き出すのが特徴。色味が鮮やかであり、花つきが良いので満開時は見応えがある。

ブタ君とイヌ君(第1話)



ビヨウヤナギ・アジサイ



開花場所